

平成26年度 四條畷市市民総合センター及び四條畷市立公民館の管理運営に対する評価票

所 管 課：教育委員会 地域教育課

評価対象：平成26年4月1日～平成27年3月31日

評価委員会開催日：平成27年10月7日・10月13日

1 指定管理者

指定管理者	四條畷市ラーニングcommons
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
施設概要	収容713名の市民ホールを中心とした市立図書館・市立公民館を含めた総合施設で、市民の福祉増進と文化教養に寄与するために33年前に設置され、市民の文化意識の向上と地域文化を図る活動の拠点としてまた地域住民にとって最も身近な学習拠点として利用されている。
指定管理料	42,400千円（平成26年度）

2 管理運営の内容

項 目	26年度の状況
運営状況	<p>○安心・安全に利用できる施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員、普通救命講習を修了した。 ・1日7回定期館内巡回を行い、また監視カメラを1階ロビーに新設することで館内防犯の強化を図った。新規に防犯マニュアルを作成し職員に防犯の意識付けを行った。 ・非常時対応マニュアルを作成し、利用者の安全確保を第一とした体制を心がけた。また、新たに施設損害賠償責任保険に加入した。 <p>○快適で利用しやすい施設を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホールの空き状況表をカウンターに設置するほか、総合センターHPにて適宜空き状況を公表した。 また、夜間しか来られない利用者のために自主的に受付時間を21時30分まで延長した。 <p>○環境保全・環境負荷の低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明につきLEDへの転換を随時図り、共用部については全てLED化したほか、故障した図書館の一部照明をLED化する形で修繕した。 ・社内の専門家によるホール空調の運転操作の効率化を実施し、契約電力を398kWから348kWまで低減した。 <p>○自主事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回の映画鑑賞会を行い、市内で映画鑑賞ができる機会を提供した。 ・親子で楽しむふれあいコンサート、防災ワークショップ、わくわく広場といった、保育つき事業や乳幼児も参加できる事業を新規で実施し、親子のふれあいを促進した。 ・イクメン写真展や女性へのパープル&オレンジリボン啓発事業を実施し、男女共同参画、暴力防止・児童虐待防止の精神を市民に伝えた。 ・四條畷市教育委員会主催の「市民文化祭」に協力し、バザー・模擬店を出店し、総合センターの利用促進、文化振興の促進に協力した。その他、市主催事業について人的・物的支援及び多少の経費支出をした。 ・「スプリングコンサート in なわて」を実施し、ヴァイオリン&チェロが奏でる良質なクラシック音楽を市民に楽しんでいただいた。 <p>○広報活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを作成し窓口に設置している。 ・HPを開設し、市HPともリンクしている。

維持管理状況	<p>○ 施設の良好な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の保守管理及び法令等で定められた定期点検を実施した。 ・ 補修、修繕が必要な個所が発生した場合、程度の軽いものは常勤職員が迅速に対応し、専門性の高いものについては専任の担当者が対応した。 ・ 年間整備計画を策定し保守点検を実施している。不具合箇所の調査を行い、修繕計画を短期・長期ともに担当課に提出して、都度協議した。 <p>○ 清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の清掃はもとより、定期館内巡回時にもトイレ等良好な状態を保つように意識し注意を払った。 ・ 定期清掃では床面のワックスはもとより、ホール・会議室のカーペット、玄関前の排水弁など普段手が回らない部分を重点的に清掃した。
利用状況	<p>前年度と比較し、市民ホールの利用状況は2件減少し、107件の利用であった。利用の内訳は貸施設としての利用は40件、市関連の事業は67件である。また市外居住者の利用は昨年より1件少なく、4件となった。利用者数は32,656人で、昨年より2,885人減少している。</p> <p>曜日別に見ると土曜日・日曜日の利用割合は30.8%であり、土日の利用は全体の過半数以上を占めた。全体の利用率は31.1%にとどまった。</p> <p>公民館の利用状況は、午前・午後・夜間のそれぞれを1枠とすると前年より366枠減少し、5,677枠の利用があった。また利用者数は、84,145人で、前年度より482人減少している。</p> <p>部屋別利用率は、展示ホール：84.0% 視聴覚室：62.3% 音楽室：62.7% 実習室：40.3% 料理室：23.6% 相談室22.0%等でギャラリー室を除き全体では46.4%の利用率であった。</p>
収支状況	<p>収支報告書では、収入が54,987,834円、支出が57,136,839円で決算額は2,149,005円の赤字決算となった。</p>

3 利用者へのアンケート調査

項 目	26年度の状況
調査の実施内容	<p>対象：施設利用者 調査期間：平成27年2月15日から平成27年3月15日 調査方法：施設利用者へ受付窓口で調査依頼、その場で記入の上、アンケートボックスへ投函してもらう形式で実施。 回答件数：135件</p>
調査の結果	<p>施設利用の感想：「非常に使いやすい」、「まあまあ使いやすい」が90.2% 職員の対応：「非常に満足している」、「満足している」が84.6%</p>
主な苦情・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部屋予約を取るのもう少し(2か月前ではなく)利便性を高めてほしい。 ・ 施設の予約などオンラインでみられるようにしてほしい。 ・ 1時間あたりで利用できるようにしてほしい。 ・ 施設の古さに比べて使用料が高いと思う。 ・ 部屋代が4月から大幅に値上げされるので痛い。苦しい。 ・ 運動できる部屋が少ない。 ・ 冷暖房の調整が各部屋で出来ればいいです。エアコン使用ルールの融通性を持っていただきたいと思う。 ・ 開室時間を少し早めてほしい。10分前位に開室すると机の並べ替えをするのに都合がいい。 ・ トイレが狭い。・洋式トイレを増やしてほしい。 ・ ホールが子供たちのたまり場になっている。 ・ ホール及び各階のチラシ置き場、もう少し整理できないか。 ・ (職員が)机の位置などを細かく指示しすぎ。 ・ 楽しく使わせていただいています。

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ○4 ●3 ○2 ○1
講 評	<p>施設の管理計画については多大な努力が見受けられ、特に施設の維持管理については、専門家の見地からどのような修繕をすればよいのかを見極め、良好な修繕を行っている点は高く評価できる。財政措置が必要な補修についても修繕計画を担当部局に提出し協議することで、効率的な修繕に繋げており、空調設備効率化や照明のLED化により省エネ化及び環境負荷の低減を実現している点も高く評価できる。</p> <p>また、窓口の受付時間延長やHPへの迅速な情報提供等、利用者が利用しやすい施設するための努力が見られる。</p> <p>自主事業については、市内各種団体との共催事業として積極的に新たな取り組みを行っており市民の文化活動の振興に尽力しているが、一方で、高齢化と定期利用サークルの減少が主要因と考えられる利用件数の減少している。</p> <p>収支状況に関しても、赤字が見られる。</p> <p>今後は、利用状況や収支状況の改善にさらなる努力を求める。</p> <p>以上の内容から、「計画内容どおりとするために努力している」と判断し、評価を「3」とする。</p>

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る (非常に満足できる) 結果
- 4 計画内容をやや上回る (満足できる) 結果
- 3 計画内容どおりの (妥当と判断する) 結果
- 2 計画内容をやや下回る (不満が残る) 結果
- 1 計画内容を下回る (非常に不満が残る) 結果